自分自身とのかかわり，地域を見つめた「キャリア在り方生き方教育」の取組

～持続可能な開発目標（SDGs）を背景として～

中学校学習指導要領解説　総則編　P.99「第４節　生徒の発達の支援　１　生徒の発達を支える指導の充実（3）キャリア教育の充実」に対応します。

取組の位置付け

背　景

第２次川崎市教育振興基本計画
「かわさき教育プラン」の基本政策Ⅰ
**「人間としての在り方
生き方の軸をつくる」**

2015年の国連サミットで採択された
**「持続可能な開発のための
2030アジェンダ」**

2016年から2030年までの国際目標
**「持続可能な開発目標」
（SDGs）**

「総合的な学習の時間」における
教育課程の研究

**「キャリア在り方生き方
教育」の視点**

「総合的な学習の時間」

**「持続可能な開発
目標」（SDGs）学習**

ここがPOINT

前期	「持続可能な開発目標」に係る **講演会**	生活や社会の問題への 関心をもたせる
	地域交流学習	生活や社会の問題について 多角的にとらえさせる
後期	**「キャリア講座学習」**	生活や社会の問題への 理解を深めさせる
	話合い活動 発表学習会	生活や社会の問題に 自ら関わりをもち解決しようとする 態度を身に付けさせる

取組の背景　～総合的な学習の時間の充実化～

教育課程全体を総合的な学習の時間を要としてデザインし直す

特色ある学校づくり　　**よりよい社会を創りあげる豊かな人間の育成**

総合的な学習の時間の目標

師弟同行の精神を基にして，探究的な見方・考え方を働かせ，**横断的・総合的・交流的**な学習を行うことを通して，よりよく**キャリアや地域に係る課題**を解決し，**持続可能な社会を構築する自己の生き方**を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 知識及び技能

キャリアや**地域**に係る探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け，**持続可能な開発目標**などの概念を形成し，探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 思考力，判断力，表現力等

実社会や実生活，**自己の生き方**や**身の回りの地域**の中から問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。

(3) 学びに向かう力，人間性等

キャリアや**地域**に係る探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いの人格を尊重しながら，積極的に社会と交流し，社会に参画しようとする態度を養う。

取組の実際　～3年間で繰り返す全校一斉授業の取組～

「関心をもつ」 有識者による講演会 【課題の設定】

- 前期・前半（４月～７月／全学年一斉）は，**有識者による「持続可能な開発目標」に係る講演会**を複数回実施し，生活や社会の問題への関心をもたせる。
- テーマとして，人権・生命尊重，平和，防災，福祉，健康・がん教育，食育，地域で生きる，地球温暖化，エネルギー・環境問題などを想定し，この中からいくつかのテーマに絞る。

取組の実際　～3年間で繰り返す全校一斉授業の取組～

「関心をもつ」 有識者による講演会 【課題の設定】

- 前期・前半（４月～７月／全学年一斉）は，**有識者による「持続可能な開発目標」に係る講演会**を複数回実施し，生活や社会の問題への関心をもたせる。
- テーマとして，人権・生命尊重，平和，防災，福祉，健康・がん教育，食育，地域で生きる，地球温暖化，エネルギー・環境問題などを想定し，この中からいくつかのテーマに絞る。

「人間の在り方生き方の軸」をつくる大切な第一歩　臨床心理士による「命の授業」

環境問題とSDGsに向き合い，自分たちの将来について考える

災害に強いまちづくり　地域に生きる一人として　東日本大震災の教訓を伝える

平和な世界を目指して　長崎の原爆被害から考える

中学生にもできる防災・減災の取組　持続可能な社会は持続可能な地域づくりから

新型コロナ時代のSDGs 「コロナ時代を生きる」「SDGsってなんだろう」

アパレルとSDGs　服飾産業と公立中学校が協働して取り組む国際貢献

取組の実際　～3年間で繰り返す全校一斉授業の取組～

「多角的にとらえる」 地域交流学習 【情報の収集】

- 前期・後半（８月～10月／学年ごと）は，**地域交流学習**を取り入れ，前期・前半で学んだ生活や社会の問題について，地域をフィールドにして多角的にとらえさせる。
- 地域での職場体験活動（２学年），地域清掃活動（１・２学年），ふれあい広場（地域とPTAを交えた行事）での地域交流活動（全学年）などの場面を当てはめる。

本校の実践における地域交流学習の位置付け

SDGsの視点

従前の教育活動

幅広い見直し

「地域」という フィールド

「キャリア在り方生き方教育」としての価値付け

１・２学年生徒が地域清掃ボランティア活動に取り組みました。拾ったごみは分別するなど，これまでの教育活動をSDGsの視点で幅広く見直すことで，従前の教育活動に「キャリア在り方生き方教育」としての価値付けをすることができます。

ふれあい広場（全学年）

地域の方が講師を務める
体験講座に参加したり
中学校の取組を地域の方に
御覧いただいたりする活動

社会の一員としての役割を果たし
個性や持ち味を発揮しながら
自立して生きていくことのよさを知る

取組の実際　～3年間で繰り返す全校一斉授業の取組～

「理解を深める」 キャリア講座学習 【整理・分析】

- 後期・前半（10月～12月／全校一斉）は，**「キャリア講座学習」**を開講し，生徒が課題意識をもって講座学習に参加し，生活や社会の問題についての理解を深めさせる。
- 各分野に精通する講師を招へいし，講座を開講する。人権・生命尊重，平和，防災，福祉，健康・がん教育，食育，地域で生きる，地球温暖化，エネルギー・環境問題などがある。

- **「何ができるようになるのか」**の視点で，**SDGsの資質・能力の育成（ESD）**の観点を取り入れる。
- **「何を学ぶか」**の視点で，講師（GT）の専門性を生かした**新時代の学習内容**を取り入れる。
- **「どのように学ぶか」**の視点で，教師が**主体的・対話的で深い学び**に取り組めるよう講師（GT）と協力していく。

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

ESDやSDGsの観点

何ができるようになるか

学校の教育課程を最大限に発揮する「縦串」と「横串」
外部・地域の人財の活用と「働き方改革」
「社会に開かれた教育課程」の実現

南生田中における**「カリキュラム・マネジメント」**の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

GT（ゲスト・ティーチャー）＝講師

協力

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

授業者＝教師

「キャリア在り方生き方教育」講座学習　講座一覧

領域	テーマ	講師所属	講師名
1 福祉	いのちの大切さ	昭和大学　客員教授	[illegible]
2 多様性	ジェンダー	神奈川県立かながわ男女共同参画センター　かなテラス	[illegible]
3 エネルギー	発電とエネルギーを考える	NUMO　原子力発電環境整備機構	[illegible]
4 エネルギー	エネルギー大臣になろう	J-POWER　電源開発株式会社　／　サイエンスカクテル	[illegible]
5 エネルギー	気候変動対策やキャリアの在り方について考える	IGES　公益財団法人地球環境戦略研究機関	[illegible]
6 経済	私の行き方発見プログラム	株式会社プラスエム　／　パナソニック株式会社	[illegible]
7 経済	海の仕事へのパスポート	公益財団法人日本海事広報協会　／　JAMSTEC　海洋研究開発機構	[illegible]
8 環境	プリンタメーカが取り組むSDGs	理想科学工業株式会社　環境活動推進部　環境活動推進一課	[illegible]
9 環境	生物多様性を知る	かわさき宙と緑の科学館（川崎市青少年科学館）	[illegible]
10 温暖化	地球温暖化防止活動を学ぶ	川崎市地球温暖化防止活動推進センター	[illegible]
11 平和	登戸研究所を学ぶ	登戸研究所保存の会	[illegible]
12 平和	平和教育	川崎市平和館専門調査員　／　中央大学・駒澤大学講師（平和学）	[illegible]
13 人権	ブーメランを飛ばそう	国士舘大学　文学部教育学科　教授	[illegible]
14 人権	PRってなに？	一般社団法人やまなし空と風	[illegible]
15 地域	減災活動を通じて学べること	トカイナカヴィレッジ	[illegible]
16 地域	動物愛護	川崎市動物愛護センター（ANIMAMALLかわさき）	[illegible]

「キャリア在り方生き方教育」講座（キャリア講座）学習実施までの流れ（PDCAサイクル）

４月	昨年度の反省を踏まえ，「キャリア在り方生き方教育」や「総合的な学習の時間」の年間指導計画を立て，実施に向けた見通しをもつ段階
10月	実施要項の作成，運営委員会・職員会議での提案，講師の選考・依頼，担当職員の分担などを行い，実施に向けた準備を進める段階
11月	SDGsやESDの観点／主体的・対話的で深い学びの観点から講座内容の打合せ，学習指導案の作成や，受講を希望する講座のアンケート（生徒）などを行い，実施に向けた取組を具体化していく段階 ※15講座に約450名の生徒を学年学級の枠を越えて（おおむね30人ずつ）割り振る
12月	**「キャリア在り方生き方教育」講座（キャリア講座）学習の実施** 講座ごとの話合い活動及び学級ごとの発表学習会へと学びをつなげていく段階
１月	生徒の振り返りや講師から寄せられる御意見，職員の反省などをまとめる段階
３月	１年間の取組を総括し，次年度の取組に生かしていく段階

地球温暖化防止活動を学ぶ／ポスター作りから地球温暖化を学ぶ

13 気候変動に具体的な対策を

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

カードゲームを通して，自分ができる（行っている）二酸化炭素排出量削減法を学ぼう

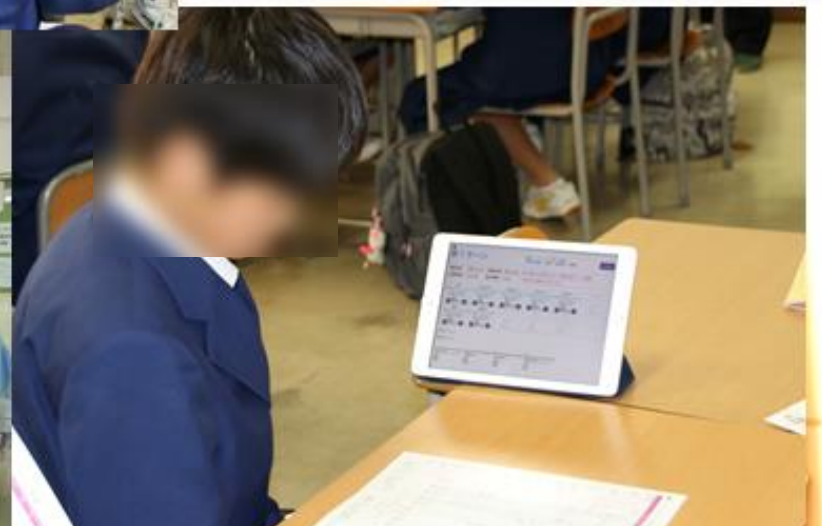
地球温暖化啓発ポスターを作ろう

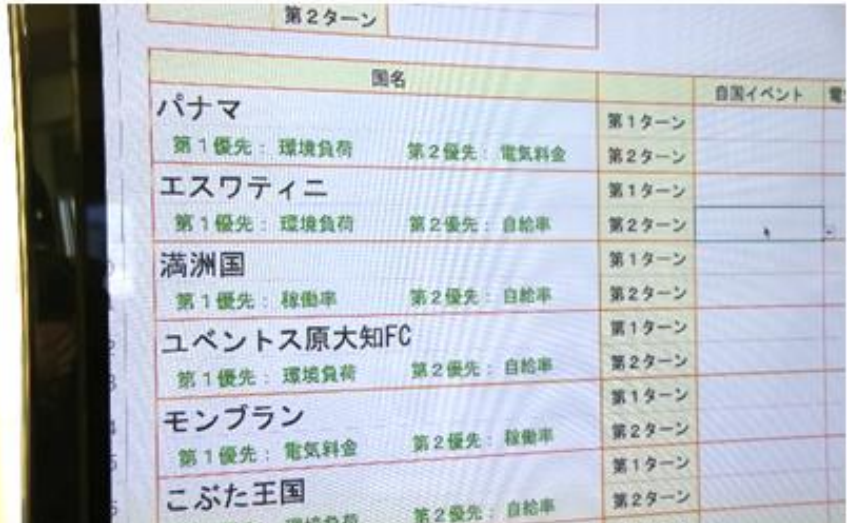
発電とエネルギーを考える／エネルギー大臣になろうＷＳ

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
13 気候変動に 具体的な対策を

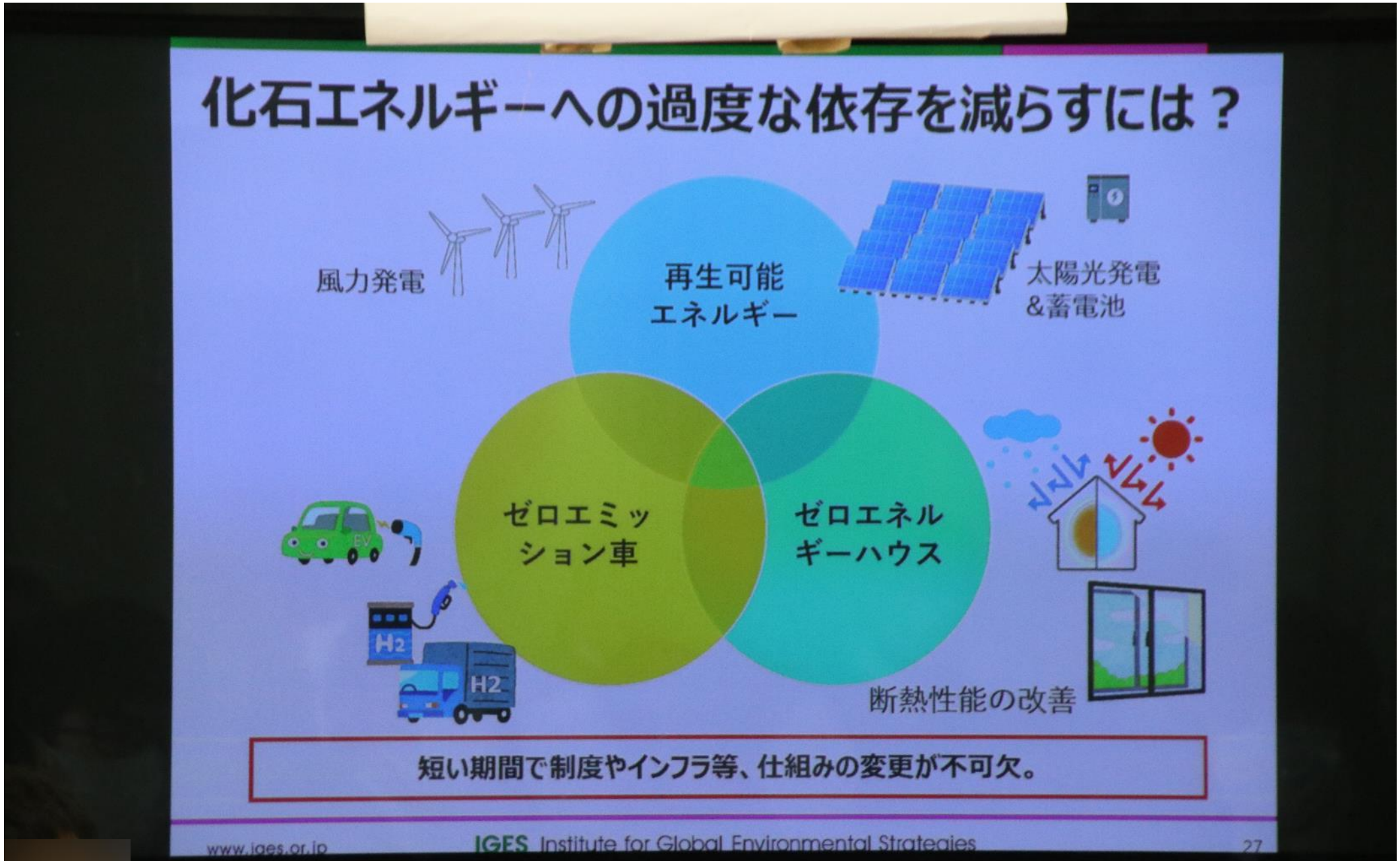
高レベル放射性廃棄物についてみんなで考えよう。

カードゲームでエネルギーについて理解しよう





プリンタメーカが取り組むSDGs



気候変動対策やキャリアの在り方について考える

取組の実際　～3年間で繰り返す全校一斉授業の取組～

「態度を育てる」　話合い活動（講座）**・発表学習会**（学級）　**【まとめ・表現】**

- 後期・後半は（１月～３月）は，**話合い活動・発表学習会**を通して，生活や社会の問題に自ら関わりをもち解決しようとする態度を身に付けさせる。
- 一年間の学びを生徒が持ち寄り，小グループによるディスカッションを通して，自らの生き方について考えを深めることや，話合いを生かして2030年までの生き方を考える活動を行った。

各講座で学習したことを互いに**共有しあう「話合い活動」**

各学級で学習したことを互いに**発表しあう「発表学習会」**

神奈川県全域・東京多摩地域の地域情報紙
タウンニュース　2020年2月7日
会社案内　採用情報
ホーム　横浜　川崎
多摩区版

南生田中
学び共有、生き方考える
「推進校」２年間取り組み
教育

川崎市教育委員会研究推進校として、２年にわたってキャリア教育等に取り組んできた市立南生田中学校（網屋直昭校長）。１月27日には市立中学校の教員や関係者らが集まる研究報告会が行われ、各クラスの授業が公開された。

「持続可能な社会を目指して」取り組みたいことを発表する生徒

取組の成果と課題　～変化する生徒・職員・学校～

変容する生徒のすがた

◆給食では

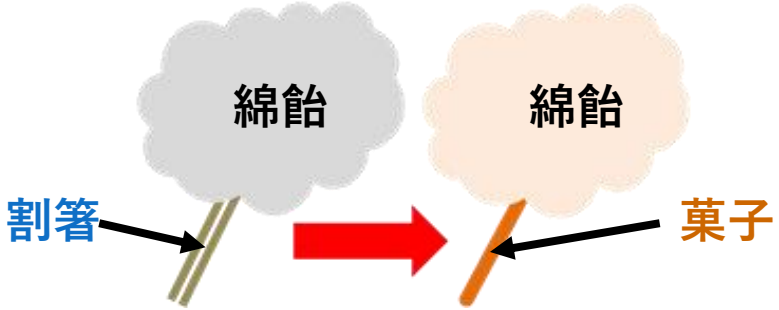
- プラスチック製ストローは，SDGsの観点から課題が多い　牛乳は洗って再使用できる容器に移して飲んだ方がよい

◆生徒会活動（委員会活動）では

- 新品の製品を購入するのは，生産と消費の観点から問題がある　SDGsの考えに反している

◆学校行事では

- SDGsの普及及び啓発をねらいとするクイズや劇を行い，地域にSDGsを浸透させよう
  クイズ景品は割箸の代用に菓子を用いて塵芥が発生しないように工夫した綿飴にしよう



取組の成果と課題　～変化する生徒・職員・学校～

変わりゆく職員の意識，変わりゆく学校

- *2018-***平成30年**
  集会時は男女混合で整列することを推進
  被災地支援の取組（継続して実施）
- *2019-***令和元年**
  職員会議資料等のペーパレス化
  ジェンダーフリーの標準服の導入
- *2020-***令和２年**
  男子トイレの完全個室化
  体育館改修に伴う節電型LED式照明
- *2021-***令和３年**
  環境功労者表彰，**教育奨励賞**の受賞
  かわさきSDGsパートナーの登録・認証
  感染症対策・節水型水栓に交換
  エッセンシャルワーカー支援の取組

わたしは，持続可能な社会の構築を目指して

2030年まで電気のむだずかいをしない。

わたしは，持続可能な社会の構築を目指して

製品の選び方などによって

電気の使用量をへらしたいです。

わたしは，持続可能な社会の構築を目指して

プリンタとか、電気をたくさん
使うものはなるべく

節約する

わたしは，持続可能な社会の構築を目指して

原子力発電がなくてもじゅうぶんしょくでんでできるようにして高レベル放射性廃棄物の増加をなくしたい

です！

わたしは，持続可能な
社会の構築を目指して

源発推進の
政治家に
票を入れる

わたしは，持続可能な
社会の構築を目指して

木使は
エネ
ギーを
使って
ガスを
なるべく。

わたしは，持続可能な社会の構築を目指して

おふろに入るときはおいだきき
のうを使わないようにする
（あまり）

わたしは、持続可能な社会の構築を目指して

問題を身近に

感じる事を

大切にする

まとめ

カリキュラム・マネジメントによる学校教育の改善・充実
（社会に開かれた教育課程の実現を含む）

- 職員間で**「社会に開かれた教育課程」**であることを共有
- 生徒の実態を踏まえ**探究の過程**（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現）や**授業展開**（導入→展開→まとめ）は**教師が推進**
- 積極的な**地域の「人財」の活用**は有効
- **地域と学校の両輪を回すために学校から発信**していくこと
- 教師が**「どのように授業にかかわるのか」**
  GT＝各分野に精通するプロ ｜ 教師＝教え方・伝え方，生徒の活動を促すプロ
- **SDGsに自ら関わり解決しようとするカリキュラム**
  自分自身とのかかわりや地域を見つめたキャリア在り方生き方教育の取組